

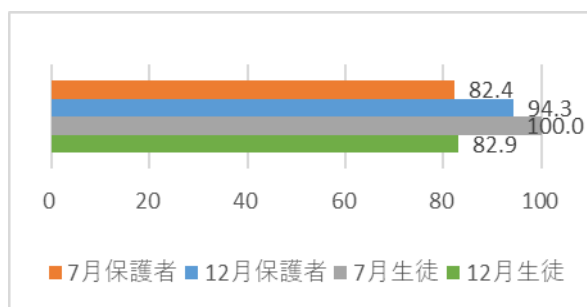
令和6年度 本校の教育活動に関するアンケート（12月実施） 集計結果

【結果の見方】

- ・（ ）内は、同一の内容を生徒に実施した際の文章です。
- ・ グラフは、肯定評価（よくあてはまる・あてはまる）と回答した数をパーセンテージで表しています。
- ・ 設問番号が連続になっていないのは、学校側の整理番号のためです。

② タブレットなどを効果的に使い、わかりやすい授業づくりに努めていると感じますか。 （授業でタブレットなどを使い、わかりやすく教えてくれていると感じますか。）

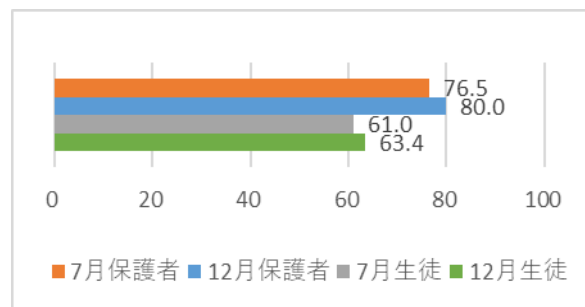
【ICT 教育推進教師を中心としたタブレット端末の効果的活用を図る校内研修の推進、市教委主催の各種研修への取組、etc.】



③-2 家庭との連携を図りながら、生徒の生活習慣の改善に向けた取組が推進されていると感じますか。

（学習時間やゲームする時間等、時間を意識した生活習慣が身についていると感じますか。）

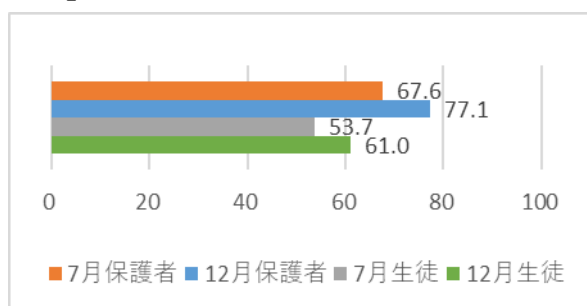
【アウトメディア読書ウィークの実施、携帯・スマホ安全教室の開催、etc.】



③-1 生徒が学年に応じた家庭学習時間（1年80分、2年90分、3年100分）を実行できるような指導・支援がされていると感じますか。

（あなたは、学年に応じた家庭学習時間（1年80分、2年90分、3年100分）を実行できていると感じますか。）

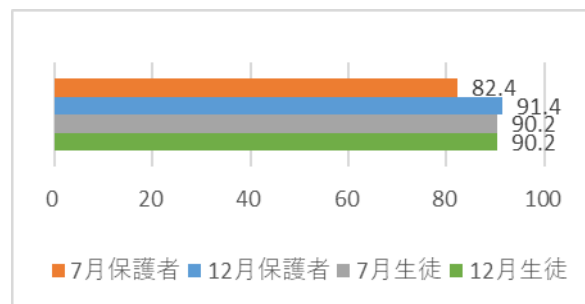
【学力向上係を中心とした「家庭学習友の会」の活用、家庭学習強化週間、各種計画表の作成や提出期限の遵守等の時間を意識した指導、etc.】



⑤ ICT 機器を効果的に活用し、生徒の情報活用能力を高めるような指導がされていると感じますか。

（ICT を活用し、わからないことがあったときにすぐ調べることができたり、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができていると感じますか。）

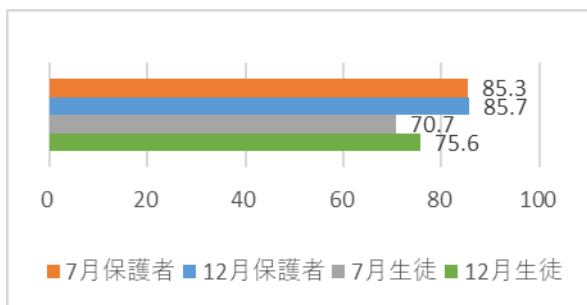
【全ての教育活動におけるタブレット端末の効果的活用、日常の持ち帰り及び家庭学習における活用の質的向上、etc.】



⑥ 目標・目的を明確にし、「存在感・承認・貢献」のある集団づくりを意識した教育活動が推進されていると感じますか。

（学校生活を通して、認められ、価値がある存在であると感じますか。）

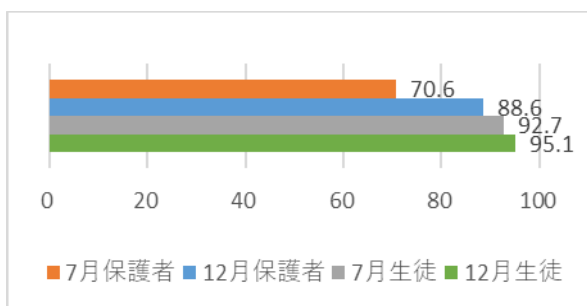
【目標・目的を明確にした各種行事の推進、「存在感・承認・貢献」のある集団づくり、主体的・対話的で深い学びによる授業、自主的・自治的な活動を促す生徒会活動や学級活動の活性化、etc.】



⑦ 道徳科を中心として、教育活動全体を通した道徳教育の充実が図られ、道徳性を高める指導がされていると感じますか。

（道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると感じますか。）

【道徳科を軸にした道徳教育の充実、「ほっと」等を活用した教育相談の推進、副担任も含めた全職員による授業の実施、etc.】

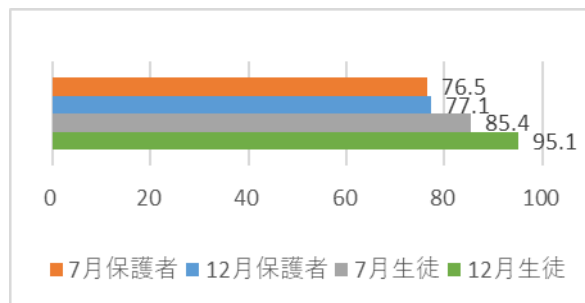


⑧ 家庭・地域との連携に努め、いじめなどの人間関係のトラブルや、不登校について組織的に取り組むことができていると感じますか。

（いじめなどの人間関係のトラブルを起こさないように取り組んでいると感じますか。）

【いじめ・不登校対策委員会の定例開催および組織的・迅速な対応、生徒理解研修の充実および理解シートを活用した情報共有の徹底、自殺予防に向けた SOS の出し方を意識した授業実

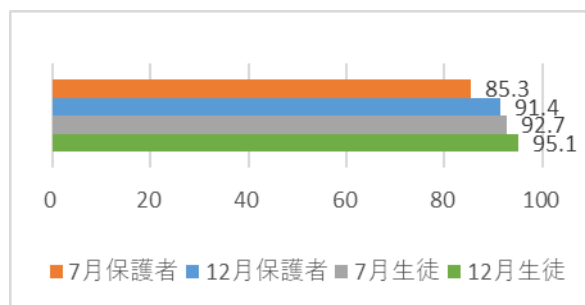
践、年5回のいじめアンケートの実施、教育相談(年2回)、生徒会主催によるいじめ防止活動、いじめ防止基本方針のHP公開、スクールカウンセラーとの連携、教育委員会や関係機関との連携強化、etc.】



⑨ 自然災害や事件、事故等から身を守るための方法やSOSの出し方について理解を深める教育活動が進められていると感じますか。

（災害や事件、事故、いじめなどの人間関係のトラブル等から身を守る意識が向上していると感じますか。）

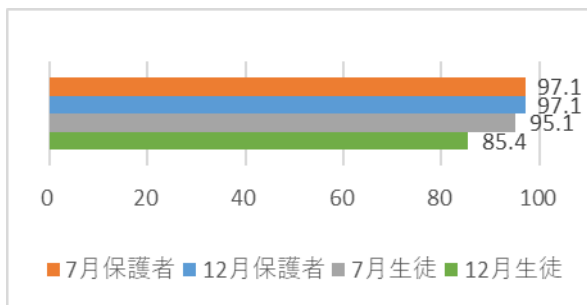
【自殺予防に向けた SOS の出し方を意識した授業実践、地震・津波・噴火などから身を守るための学習・避難訓練、携帯・スマホ安全教室、非行防止教室、薬物乱用防止教室、ジオパークにおける火山学習、etc.】



（裏面へ続く）

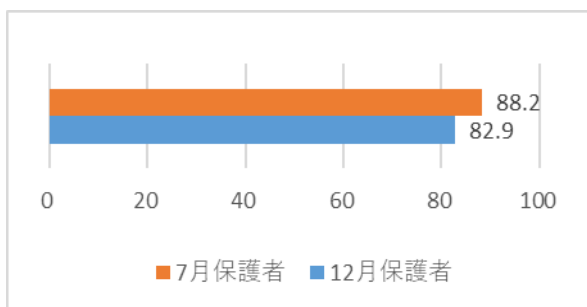
- ⑩ 地域資源や地域人材を活用した体験活動を重視し、ふるさと登別のよさを知り、理解を深める教育活動が進められていると感じますか。
（地域の人々、学校外の施設や機関と連携した学習をしていると感じますか。）

【郷土芸能「熊舞・鬼みこし」の取組、地域おこし協力隊による講話、地域人材を活用した職業講話、職業体験学習、雅楽鑑賞会、etc.】



- ⑪ 特別な配慮が必要な生徒に対し、特性を理解したり情報を共有するなど、指導や支援に工夫がされていると感じますか。

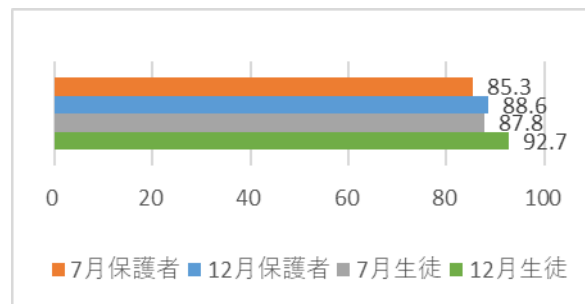
【特別支援教育コーディネーターを中心とした校内研修の充実、教育支援委員会の定例開催、etc.】



- ⑫ 生徒の自発的・主体的な成長、発達する過程を支える教育活動が進められていると感じますか。

（自分たちの力で学校生活をよりよくする取組ができていると感じますか。）

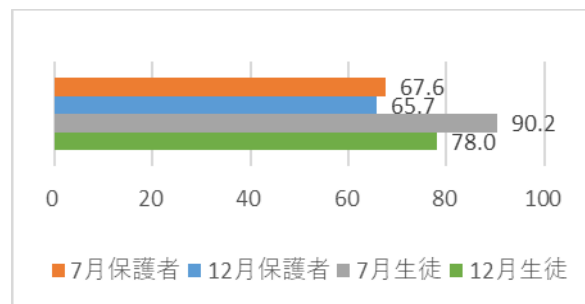
【目標・目的を明確にした生徒会行事や委員会活動の推進と振り返り、自主的・自治的な活動を促す生徒会活動や学級活動（生徒会オリエンテーション、生徒総会、専門委員会、共同募金活動、学校祭、町内クリーン作戦、いじめ撲滅集会、3年生を送る会、各種係・当番活動）の活性化、etc.】



- ⑬ 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する場の設定を意識した教育活動が進められていると感じますか。

（難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する学習ができていると感じますか。）

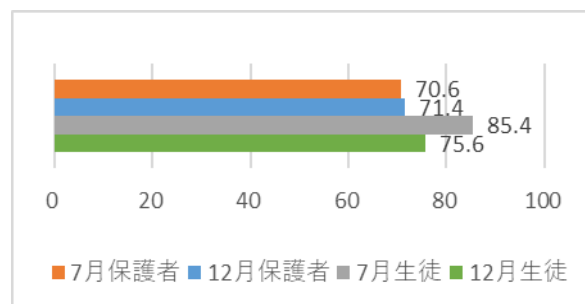
【スモールステップを積み重ねる適切な課題設定と乗り越えさせるための支援活動と励まし、主体的・対話的で深い学びによる授業、etc.】



- ⑭ 生徒が家庭学習の時間や内容について、より良くしようと工夫することができるように指導や支援がされていると感じますか。

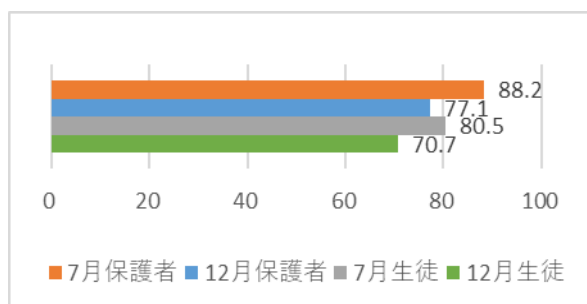
（家庭学習の時間や内容について、より良くしようと工夫できていると感じますか。）

【学力向上係を中心とした実態に応じた学習課題内容の提示、学力向上係を中心とした「家庭学習友の会」の活用、家庭学習強化週間、各種計画表の作成や提出期限の遵守等の時間を意識した指導、etc.】



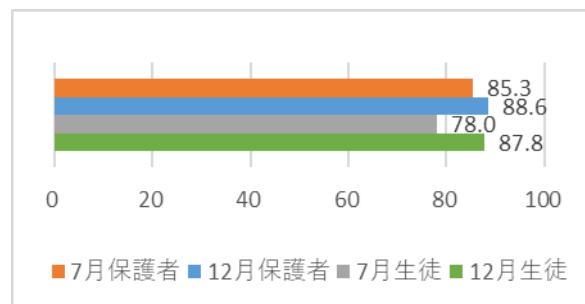
⑮ 9年間の系統性を意識し、小学校や保護者と連携した取組が推進されていると感じますか。
（小学校や家庭と連携した取組が進められていると感じますか。）

【年2回の小中合同研修会の充実、出前授業、家庭学習強化週間の連携、新入生体験入学、特別支援交流、etc.】



⑯ 生徒の進路について、系統的に情報共有し、適切な指導や支援がされていると感じますか。
（自分の将来や進路を考えるための学習が進められていると感じますか。）

【職業調べ、職業講話、職場体験学習、専門学校訪問、高校説明会、高校体験入学、etc.】



今回のアンケート結果より

- 前回（7月）のアンケート結果と比較し、保護者の回答では15項目中11項目でポイントが上がり、3項目でポイントが下がりました。（変動なしが1項目） また、生徒の回答では14項目中8項目でポイントが上がり、5項目でポイントが下がりました。（変動なしが1項目）
- 前回のアンケートでは低い傾向であった、家庭と連携した家庭学習の習慣化の定着に向けた取組の推進（③-1、③-2、⑭）と、「居場所づくり」「絆づくり」を軸とした自己有用感を高める教育活動の推進（⑥）については、おおむね前回よりポイントが上がりましたが、生徒自身の家庭学習の意識（⑭）については、前回よりもポイントが下がりました。
 - ・ ③と⑭については、生活習慣改善の取組に加え、タブレットの持ち帰りによるAIドリル等を活用した家庭学習の推進により、時間への意識は向上したものの、学習内容の定着に関しては実感できるまで至っていないことが考えられます。
 - ・ ⑥については、各教科や学校行事の中で、スモールステップを多く取り入れ、生徒一人一人が達成感を得ることができるよう工夫したり、生徒一人一人の存在感を明確にし、自主的に取り組める手立てを増やしたりしてきたことが結果に表れていると考えられます。
 - ・ 学校での指導を継続するとともに、生活習慣の改善に向けた家庭での声掛けや見取りを引き続きお願いします。
- 前回のアンケートでは保護者と生徒の意識に開きが見られていた、系統性や発達段階を意識した道徳教育の充実（⑦）と、目標や課題に立ち向かう場の設定を意識した教育活動の推進（⑬）については、どちらも開きは小さくなりましたが、⑦については保護者のポイントが上がったのに対し、⑬については両者ともにポイントが下がりました。
 - ・ ⑦については、各学年で道徳の授業を中心に充実を図っており、授業者が担任だけに限定されないことが、生徒にとってもよい刺激となっていると考えられます。一方で、⑬については、継続した取組を行っているものの、大きな成果につながっていないという実感がアンケート結果に反映されたと考えられます。
 - ・ 継続した指導と、生徒一人一人の困り感に対応する等、より質の高い取組となるように日々改善し、引き続き、生徒や保護者へのフィードバックを行っていきます。
- 9年間の系統性を意識した学習・生活習慣の改善（小中連携教育の推進）については、保護者、生徒ともに前回よりもポイントが下がりました。（⑮）
 - ・ 様々な取組は推進されているものの、現在の保護者、生徒が実感できるような情報発信が十分ではないことが考えられます。
 - ・ 様々な活動を通して、小中連携事業や9年間を見通した指導・活動内容を保護者や生徒にも積極的に情報提供をすることで、登別中校区での小中連携教育を進めてまいります。